

平成 23 年度事業報告

清流・環境対策部会

東日本大震災の影響により「身近な川や水辺の健康診断」を例年より 1 ヶ月延期して実施したが、22 年度並みの参加をいただき、また「クリーンアップ・キャンペーン」は小学校単位での参加申し込みが増加した。

これらのステップアップ事業「ゴミ発生源対策『捨てない・すてさせない in 最上川』」は、国土交通省で鉄柵を設置し調査している他、会長・地域部会長・事務局長が県内 35 市町村長を訪問した際、ゴミの引きあげ・処分のより具体的な取り組み（総合入札制度の導入等）を呼びかけた。さらに、山形県海岸漂着物対策推進協議会と連携し、河川流域と沿岸域の協力体制を強化すると共に、22 年度に引き続きモデル地区の取り組みを「最上川環境マップ」に掲載している。24 年度に向けて、河川活動に関する人材育成を検討中。

1 第 10 回身近な川や水辺の健康診断（平成 14 年度～）

(1) 実施状況

① 一斉調査期間 平成 23 年 7 月 2 日(土)～7 月 10 日(日)

学校などで調査の場合 平成 23 年 7 月 2 日(土)～8 月 26 日(金)

② 主な調査内容

・透視度計(1m)による透視度調査

・バックテスト(簡易水質検査器材)による水質調査

6 項目 : pH、COD、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、リン酸性リン

※COD については国土交通省と全国の市民団体が連携する「身近な水環境の全国一斉調査」の一環として実施。調査結果 50 地点分を全国水環境マップ実行委員会へ提出。

・水辺環境(ゴミや動植物などの様子)の簡易目視調査

・水生生物調査

例年、山形県環境科学研究センターと連携し、希望グループについては身近な川や水辺の健康診断との同時申込みを可能としていた。しかし、23 年度は震災の影響で募集時期がずれ込んだことにより、申込みは別々にした。

③ 参加申込み 110 団体・1,162 名・285 か所

④ 調査実施結果 101 団体・1,028 名・257 か所

※()内の数値は、22 年度状況

	置賜地区	村山地区	最上地区	庄内地区	計
実施団体数	28 (24)	36 (35)	23 (20)	14 (16)	101 (95)
調査箇所数	75 (65)	89 (96)	65 (55)	28 (43)	257 (259)
参加人数	399 (349)	283 (383)	184 (276)	162 (219)	1,028 (1,227)

年度別実施状況

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
団体数	124	83	108	116	110	100	85	80	95	101
人数	803	929	1060	1271	1181	1213	890	1055	1227	1028
調査地点数	346	285	284	298	287	217	215	221	259	257

・参加団体一覧及び調査結果一覧をホームページに掲載

(2) 事業に対する支援

・バックテストと比色カード(COD 以外の 5 項目)

国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所、酒田河川国道事務所、新庄河川事務所

- ・ 公定法調査協力
一般財団法人山形県理化学分析センター、エヌエス環境株式会社、株式会社テトラス、株式会社
理研分析センター、公益社団法人山形県水質保全協会、東北公益文科大学

(3) 参加者説明会

地域部会が主体となり開催。置賜・村山・庄内の 3 地域部会員と開催準備を協力し、参加者の募集を行なった。参加申込みが 2 団体以上の場合に実施とし、次の 2 地域にて開催。

- ・ 庄内地区説明会

平成 23 年 6 月 25 日(土) 14:00～16:00 (三川町公民館 3 団体・6 名)

内容 (1) 器具の使用・記録用紙記入方法の説明 (2) パックテスト・透視度計の実技講習

- ・ 置賜地区説明会

白鷹町内小学校全 5 校にて、しらたかサイエンスクラブ高山団長の協力により指導を実施。

(4) 参加者への現地調査サポート

参加団体からの要請に応え、地域部会を中心に下記会員の協力により、現地にて水質調査指導や調査全般のサポートを行った。

(協力会員) 国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所、一般財団法人山形県理化学分析センター、公益社団法人山形県水質保全協会、しらたかサイエンスクラブ

2 第 9 回美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン (平成 14 年度～)

(1) 実施状況

- ・ 実施期間 8～10 月
- ・ 55 団体・1,347 名の参加
- ・ 参加しデータカード作成に協力いただいたグループの活動経費の一部を支援。
支援額 10 人以上＝5 千円、10 人未満＝3 千円
- ・ 調査結果はフォーラムホームページ上の「最上川環境マップ」に掲載。

参加状況結果

※()内の数値は、22 年度状況

	置賜地区	村山地区	最上地区	庄内地区	計
参加 グループ	15 (14)	17 (16)	7 (6)	16 (13)	55 (49)
参加人数	563 (309)	310 (288)	162 (90)	312 (286)	1,347 (973)

年度別参加状況

	H14	H15	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
グループ数	6	17	21	58	49	50	50	49	55
人数	—	—	—	1839	1019	1000	1700	973	1347

(2) イベントとのコラボレーション(事務局にて広報協力・キャンペーン概要説明の実施、参加)

- ・ 黒滝会…8 月 28 日(日) 事業報告会等と併せてフットパスのクリーンアップ(白鷹町・参加者 15 名)
- ・ 水土里ネット三郷堰…9 月 9 日(金)ふれんどしっふ・水辺の郷サミット 2011(中山町・参加者 62 名)

3 ゴミ発生源対策「捨てない・すてさせない in 最上川」(平成21年度～)

- ・モデル地区3市6町の取り組みを22年度より継続してアンケートを実施。HP「もがみがわ環境マップ」で公表。南陽市では総合評価方式入札制度の基準点見直しについて検討中。他のモデル地区市町についても、検討会などを開催している。

(モデル地区)朝日町・飯豊町・大江町・川西町・白鷹町・高畠町・長井市・南陽市・米沢市

「最上川環境マップ」ホームページにて掲載 ⇒ <http://map.mogamigawa.gr.jp/>

- ・国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所では、平成22年度より引き続き、樋門・樋管9ヵ所に鉄柵を設置し、回収ごみの調査を継続実施。データ蓄積を行い、季節による回収ゴミの傾向調査や土地利用区分に沿った対応の検討などに利用していく。

(設置地点)長井市…3ヵ所、米沢市…2ヵ所、白鷹町・高畠町・南陽市・川西町…1ヵ所

- ・山形県海岸漂着物対策推進協議会との連携を強化。河川流域と沿岸域が一体となった取り組みを展開。全県を挙げ、海岸漂着物の回収処理や発生の抑制に取り組んでいくための「美しいやまがたの海づくりプラン」策定に参画。プランのスタートにあたり開催された「海岸漂着物対策・キックオフイベント」のパネルディスカッションにて、柴田会長がパネラーとして参加。7月6日(水)13:30～15:00 東北公益文科大学公益ホールにて、約200名が参加。併催の宮野浦海岸清掃体験会には、沿岸域および河川上流域からの参加者(フォーラム会員を含む)約70名が参加。
- ・会長・地域部会長・事務局長が会員である県内全市町村長を訪問し、各市町村の対策を確認。モデル地区においては、ゴミ回収に係る総合評価方式入札制度について検討を促した。

4 もがみがわ水環境発表会(平成17年度～)

山形県環境科学センターと連携し「第7回もがみがわ水環境発表会」を開催。県内各地において水環境向上の活動に取り組む個人、団体、学校(小・中・高・大学・大学院)、研究機関が、日ごろの活動や研究成果を発表。

11月6日(日) 遊学館(山形県生涯学習センター) 第1・2研修室(参加者 約120名)

共 催: 国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所、酒田河川国道事務所、新庄河川事務所
財団法人山形県生涯学習文化財団、山形県

協 賛: 社団法人山形県浄化槽工業協会、株式会社理研分析センター、公益社団法人山形県水質保全協会、一般財団法人山形県理化学分析センター、大岩環境技術士事務所

後 援: 山形県教育委員会、朝日新聞山形総局、毎日新聞山形支局、読売新聞東京本社山形支局、日本経済新聞社山形支局、産経新聞社山形支局、河北新報社、共同通信社山形支局、時事通信社山形支局、山形新聞・山形放送、荘内日報社、米澤新聞社、NHK山形放送局、山形テレビ、テレビユー山形、さくらんぼテレビ

発 表: 口頭発表セッション 10 団体、ポスターセッション 12 団体、合計 22 団体

基調講演: 「水魚の交わり」 講師 渡邊一哉氏(山形大学農学部准教授)

5 第3回美しい水辺づくり功労賞(平成21年度～)

- ・「身近な川や水辺の健康診断」に継続して参加するとともに、水辺の環境向上へ向けた具体的な活動を実施している団体、環境教育に貢献している3団体を表彰。

(受賞団体) 県南漁業協同組合[米沢市]、米沢中央高等学校科学部[米沢市]

子どもの未来を考える会・東根市立大富小学校科学クラブ[東根市] □連名受賞

- ・表彰状および副賞(図書カード5千円分)を贈呈。
- ・水環境発表会講演要旨集へ活動紹介を掲載。さらにポスターを作成し会場にて掲示を行い、縮小版を受賞団体へ進呈。ホームページにも掲載。

最上川文化・地域経済活性化部会

フォーラム設立 10 周年記念事業を開催し、多くの皆様にご参加いただいた。また首都圏で活動を展開している美しい多摩川フォーラムとの広域連携事業として、東日本大震災被災地域を含む東北6県の桜を通した、長期的な復興支援プロジェクト「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヶ所巡り」を開始した。東北各県の知事へは、フォーラム顧問である吉村知事から呼びかけていただき、賛同を得た。最上川夢の桜街道づくりは、維持管理・桜守育成のための支援を強化した。

「水辺の四季」写真コンテスト受賞作巡回写真展を県内 4 地域・5 会場にて開催し好評を得た。

環境先進都市づくり構想～次世代木質建築推進山形協議会は、中間報告・資料を作成しHPに公表した。

1 設立 10 周年記念事業

- ・ テーマを「美しい元気な山形づくり」として講演・鼎談を開催。出席者約 150 名。
10 月 1 日(土) 13:30～15:50 (山形グランドホテル 2F サンリヴァ)
講 師:宮坂不二生 美しい多摩川フォーラム運営委員・事務局長
鼎談者:高橋節 山形県副知事、ダニエル・カール 美しい多摩川フォーラム副会長、柴田会長
東北連携 10 年プロジェクト「東北・夢の桜街道～桜の札所八十八ヶ所巡り～」プランの公表と、新しい公共を担う最上川フォーラムの役割について話し合われた。
- ・ 講演・鼎談開催後、記念パーティーを開催 (8F アルカス)。参加者 70 名。

2 東日本大震災復興支援プロジェクト「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヶ所巡り～」

(1) 「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヶ所巡り」運動始動

- ・ 平成 23 年度通常総会にて運動の始動を柴田会長が発表し承認された。
- ・ 東北各県の桜の名所を「わたしがおすすめする桜」と題し、ホームページ上にて広く一般に公募した。公募期間 7 月 16 日(土)～8 月 31 日(水)。また、県内市町村および東北各県の観光協会に呼びかけ、桜の名所をご推薦いただいた。応募総数 143 地点。
- ・ 八十八ヶ所の選定審査会(委員:宮坂 美しい多摩川フォーラム運営委員・事務局長、柴田会長、本間部会長、伊藤事務局長)を 9 月 13 日(火) 15:00～16:00 放送大学にて開催。市町村へ選定通知を行った。
- ・ 八十八ヶ所選定地は、10 月 1 日(土)に山形(当フォーラム記念事業)・東京(JATA 旅博)にて対外公表。両フォーラムホームページに掲載。
- ・ 吉村県知事から東北各県知事へ呼びかけをしていただき、東北 6 県全ての後援をいただいた。
- ・ 団体・企業・金融機関などより後援名義・協力をいただいた。

(2) 東北・夢の桜街道推進協議会へ参画

- ・ 「東北・夢の桜街道」プランの推進のため、美しい多摩川フォーラムと協議会を立ち上げた。
- ・ 国土交通省よりご支援をいただき実施 採択額：920 万円
- ・ 協議会活動費として、100 万円を拠出した。
(第 36 回運営委員会で柴田会長が発表し、承認された。)

3 最上川夢の桜街道推進地域活動 (平成 15 年度～)

(1) 最上川夢の桜街道推進地域活動への補助事業

- ・ 最上川夢の桜街道の実現に向けて、地域の皆さん(桜守)が行う桜の植栽・管理活動などを、市町村を通じて支援。14 市町村・17 団体に植栽、手入れ等の活動を実施。

(2) 「最上川夢の桜街道～美味しいやまがた桜の札所・三十三ヵ所巡り」運動始動

- ・ 第 36 回運営委員会にて運動の実施を提案し、承認された。山形県の観光振興を盛り上げ、地域活性化推進のための取り組みを行なう。
- ・ 山形県内の桜や名物を「わたしがおすすめする桜・桜にまつわる観光情報」と題し、ホームページ上にて広く一般に公募した。また県内 35 市町村、「東北・夢の桜街道」運動後援団体へ呼びかけ、桜の名所を推薦してもらった。
- ・ 24 年度開催の写真コンテストと連携した取り組みとして行っていく。

4 最上川夢の桜街道づくり技術研修会(平成 16 年度～)

山形西公園の桜維持管理活動(主催:株式会社ヤマザワ会員)に参加。村山地域部会の協力により実施。

5 機関誌「夢の桜街道～さくら物語～」第 14 号(平成 16 年度～)

- ・ 会員と事務局から成る編集委員会を組織し作成した。
- ・ 予算削減にあわせ、デザイン・紙質を考慮し見積りあわせを 3 社にて行い、印刷会社を決定。
- ・ 全体のデザインを第 13 号より刷新し、継承。

6 第二回「やまがた水辺の四季」写真コンテスト受賞作巡回写真展(平成 16 年度～)

昨年度開催した写真コンテストの作品を県内 5 会場にて巡回展示

- ・ 庄内会場 7月5・6日 東北公益文科大学 公益ホール(酒田市) 来場者:約200名
□海岸漂着物対策・やまがたキックオフイベントの併催展示
- ・ 最上会場 7月25日～8月8日 鮭川村役場内村民ホール(鮭川村) 来場者:約200名
- ・ 村山会場 ①9月4日 日本一の山形芋煮会フェスティバル かわとびあゾーン内
(山形市馬見ヶ崎川河川敷) 来場者:約10,000名
②10月29・30日 やまがた環境展 環境活動・啓発・体験ゾーン内
(山形市国際交流プラザ ビックウイング) 来場者:約25,000名
- ・ 置賜会場 10月1・2日 日本フットバスケットボール大会(長井市タスパークホテル) 来場者:約300名

7 環境先進都市づくり構想～次世代木質建築推進山形協議会～(平成 22 年度～)

前年度から引き続き 4 回の協議を行い、中間報告(5 回開催分)をまとめた。報告書はフォーラムのホームページや国土交通省東北地方整備局発行の「東北圏だより」に掲載し広く発信している。林業の六次産業化促進などによる山村再生や、木造都市づくりによる町おこしなど地域経済の活性化を目指す。また林野庁等から、その活動・提言内容が高く評価されている。

8 啓発資料の作成

啓発資料(ポストカード、ポスター等)を作成するとともに、ホームページ、メールマガジン、ブログ等の運営により、フォーラムの活動に対する理解の向上と会員拡大を図った。

地域部会

地域の特性や会員のニーズを踏まえつつ、各地域部会においてテーマを決め研修会や研究会を実施した。地域住民や各種団体等が参加できるように配慮し、フォーラム活動への協力団体とのネットワークを拡充している。また、23年度より県内35市町村すべてが会員となり、会長・各地域部会長・事務局長が市町村長を訪問し、意見交換をした。今後は、地域のリーダーの積極的な育成を検討する。

◇置賜地域部会

(1) 地域の宝を後世に引き継ぐ活動

- ・ 6月11日(土)「みんなで語る お羽黒様との思い出話」を白鷹町山口公民館にて開催。
- ・ 11月18日(金)「最上川夜話を聴く会」を白鷹町産業センターにて開催。
- ・ 山口里づくり委員会に協力し、白鷹町山口地区羽黒神社の言い伝えの伝承・民話や文化を洗い出し、紙芝居を制作。

(2) 河川環境美化活動の実施

最上川河川敷(米沢市)への花苗植栽の検討

(3) 「身近な川や水辺の健康診断」事前指導・調査サポートの実施

しらたかサイエンスクラブ(高山団長)の協力により、白鷹町内小学校全5校へ、水質調査の事前指導・調査時のサポートを実施。全5校において調査を実施(ただし結果提出は4校)。

◇村山地域部会

(1) 「夏休み体験学習会～最上川を調べてみよう～」の実施

- ・ 7月30日(土)県立自然博物館(西川町)にて開催。参加者30名(小2～大人)
- ・ 最上川を流れる水が、酸性化している雨や雪から、どのような過程を経て中性となって生活に豊かさを与えているのか、水循環のメカニズムにおける森林の役割を観察と実験により学習。

(2) 西公園桜維持管理活動(主催:株式会社ヤマザワ会員)への協力

- ・ 10月22日(土)山形市西公園内の桜の木150本の剪定作業。参加者15名。

◇最上地域部会

(1) 地域部会を10月26日(水)に開催。今後の進め方、部会長改選などを協議。

- ・ 指首野川をモデルとした水質調査会の実施について検討。
- ・ 24年度は部会長を改選し、幹事会などを設ける。

(2) 「指首野川水質調査会」の実施

- ・ 11月20日(日)新庄市千門町公民館にて実施
- ・ 指首野川上流～下流まで11地点。指首野川に流入する河川(升形川など)6地点。合計17地点の水質調査(パックテスト6項目)を行う。

◇庄内地域部会

(1) 「身近な川や水辺の健康診断」の活動

- ・ 実施説明会 6月25日(土)三川町公民館 3団体6名の参加
- ・ 小中学校へ参加の呼びかけ 9月27日(火)酒田市理科教育センター
酒田市教育委員会主催「理科教育基礎研修会」において、参加者17校19名(小学校13校:教諭15名、中学校:4校教諭4名)へ当フォーラムの事業概要と、特に「水質調査」について説明し生徒の参加を呼びかけた。当日不参加校には、担当者を通して資料の配布を呼びかけた。

(2) さくら守実技講習会

協力を依頼した団体の都合により、計画が立たず中止した。

総会・運営委員会・部会

- ・ 通常総会の開催(6月21日(火))
平成22年度事業報告及び決算、平成23年度事業計画及び予算、役員改選を協議
- ・ 運営委員会の開催
 - 第35回…5月19日(木)(22年度事業進捗・決算案について、23年度事業計画・予算を協議)
 - 第36回…11月29日(火)(23年度進捗・補正予算案、24年度計画案の検討)
 - 第37回…3月14日(水)(23年度事業実施報告 24年度事業計画案及び予算)
- ・ 部会の開催
 - 第28回部会…11月17日(木)(23年度事業の中間総括、24年度事業の方向性の検討)
 - 第29回部会…3月6日(火)(23年度事業実施報告、24年度事業計画案の検討)

その他 助成事業・委託事業・連携事業など

- 1 みちのく国づくり支援事業(社団法人東北建設協会)
 - (1) 事業名: 清流化事業「最上川をきれい に ゴミを捨てない 県民運動」 採択額: 100,000 円
ホームページ掲載「最上川環境マップ」の拡充。「水質マップ」の新規構築。
 - (2) 事業名: やまがた「水辺の四季」写真コンテスト～巡回写真展(P5 参照) 採択額: 100,000 円
- 2 山形県公募型雇用創出事業(山形県)

事業名: 美しい山形・最上川フォーラムによる「美しい山形づくり運動」推進事業
委託料: 10,461,990 円

 - (1) 水辺の散乱ゴミ対策及び水環境保全
発生源対策、最上川の美化、収集したゴミの処理、水環境の保全に係る環境教育の推進などの実施。(身近な川や水辺の健康診断: P1、ゴミ発生源対策: P3 参照)
 - (2) 最上川を活用した観光振興及び環境教育…21 年度に実施している最上川の利活用等に向けた調査・検討を踏まえた提言に基づき、多様な主体との連携のもと、利活用のための県民運動の展開を図る。
 - ① 新たな公によるコミュニティ支援の継続実施と支援モデルの発信
 - ・ 「新たな公」の取り組みへの活動支援
 - ・ 「しらたかサイエンスクラブ」
黒滝会を母体とした青少年対象の科学団体。自然への思いやりと科学的探究心を養い、青少年の健全育成をはかることが目的。地元の植物・動物と触れあう自然観察会などを開催。
 - ② 森、まち、海の観光地をつなぐ最上川 (次世代木質建築推進山形協議会: P5 参照)
 - ③ ゴミ拾いとイベントのコラボレーション (クリーンアップ: P2 参照)
 - ④ 「水環境発表会」への小・中学生参加の推進 (もがみがわ水環境発表会: P3 参照)
- 3 県民運動推進方策の検討事業(山形県)

事業名: 県民活動継承調査・検討事業 委託料: 499,800 円
多様な主体との連携によって、山形の宝を継承する県民活動を実施していくために必要な方策を検討し、活動のモデル化を図るため、アンケート・報告書を作成。
- 4 山形県海岸漂着物対策推進協議会との連携

7月6日(水)開催の「海岸漂着物対策・やまがたキックオフイベント」に参画。(P3 参照)
パネリスト: 柴田会長、鶴岡市油戸住民会長、庄内総合支庁保健福祉環境部長 ほか
- 5 35 市町村との連携

23 年度から会員となった県内全市町村を会長・地域部会長・事務局長が訪問し、意見交換を行った。

平成23年度美しい山形・最上川フォーラム収支決算

第1号議案

収入の部計	20,497,713
支出の部計	19,289,181
差引(H24年度への繰越金)	1,208,532

平成24年3月31日現在

1 収入

(単位:円)

区 分	平成23年度 当初予算額	補正後予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	備 考
1 会費	5,611,000	6,272,000	6,281,520	9,520	
2 県負担金	400,000	400,000	400,000	0	
3 山形県公募型雇用創出事業	10,461,990	10,461,990	10,422,191	▲ 39,799	
4 繰越金及び積立金	2,571,007	2,571,007	2,571,007	0	繰越金1,561,007円、夢の桜街道積立金1,010,000円
5 借入金	521,000	824,000	822,945	9	
①団体助成金など	519,892	822,485	822,485	0	
県民運動推進方策の検討事業	499,800	499,800	499,800	0	
あいおいニッセイ同和損保web約款寄付	20,092	42,685	42,685	0	
水環境発表会協賛金	0	80,000	80,000	0	協理研分析センター様 20,000円 公益社団法人山形県水質保全協会様 20,000円 一般財団法人山形県理化学分析センター様 20,000円 一般社団法人山形県浄化槽工業協会様 10,000円 大岩環境技術士事務所様 10,000円
みちの国づくり支援事業費	0	200,000	200,000	0	
②預金利子等	1,111	518	510	8	
合計	19,565,000	20,528,000	20,497,713	▲ 30,271	

2 支出

(単位:円)

区 分	平成23年度 当初予算額	補正後予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	備 考
1 経費	10,712,000	10,832,000	10,458,912	▲ 408,088	
①交通費	400,000	400,000	322,502	▲ 77,498	
②需用費	1,200,000	1,100,000	949,200	▲ 150,800	
③役務費	1,500,000	900,000	689,880	▲ 210,120	
④使用料	700,000	700,000	612,521	▲ 87,479	
⑤事務局費	6,912,000	7,762,000	7,884,809	122,809	山形県公募型雇用創出事業費含む
2 事業費	8,699,800	8,819,800	7,816,954	▲ 1,002,846	
①水辺の健康診断	1,000,000	750,000	612,377	▲ 137,623	山形県公募型雇用創出事業費
②もがみがわ水環境発表会	200,000	280,000	189,667	▲ 90,333	山形県公募型雇用創出事業費・協賛金含む
③クリーンアップキャンペーン	500,000	500,000	399,995	▲ 100,005	山形県公募型雇用創出事業費
④キャプテン研修会	100,000	0	0	0	
⑤さくら物語	700,000	700,000	640,060	▲ 59,940	
⑥設立10周年記念事業	600,000	660,000	600,602	▲ 59,398	東北夢の桜街道88カ所巡り事業含む
⑦写真コンテスト	0	310,000	294,655	▲ 15,345	みちの国補助対象、H24夢の桜街道写真コンテスト準備含む
⑧桜街道づくり	1,500,000	1,520,000	1,518,735	▲ 1,265	
⑨キャンペーン啓発物品	600,000	800,000	797,239	▲ 2,761	
⑩地域事業	900,000	600,000	429,974	▲ 170,026	山形県公募型雇用創出事業費含む
⑪新たな公	300,000	400,000	231,987	▲ 168,013	山形県公募型雇用創出事業費
⑫ゴミ発生源対策	1,000,000	1,000,000	951,267	▲ 48,733	山形県公募型雇用創出事業費
⑬最上川利活用事業	800,000	800,000	698,730	▲ 101,270	山形県公募型雇用創出事業費
⑭県民運動推進方策の検討事業	499,800	499,800	451,666	▲ 48,134	
3 雑費	153,200	153,200	9,345	▲ 149,855	
4 積立金	0	638,000	1,010,000	▲ 372,000	夢の桜街道積立金へ
総計	19,565,000	20,528,000	19,289,181	▲ 1,238,819	

3 積立金

(単位:円)

区分	23年度 期首残高(A)	23年度 期末残高(B)	増減 (B-A)	備 考
1 フォーラム基盤強化積立金	2,108,152	1,108,435	▲ 999,717	東北夢の桜街道推進協議会へ1,000,000円拠出、利息283円
2 夢の桜街道積立金	1,010,000	1,010,000	0	
合計	3,118,152	2,118,435	▲ 999,717	

4 基金

区分	23年度 期首残高(A)	23年度 期末残高(B)	増減 (B-A)
1 山形市コミュニティファンド	45,000	45,000	0
2 やまがた社会貢献基金	23,989	23,989	0
合計	68,989	68,989	0

美しい山形・最上川フォーラム 役員名簿(平成24年5月23日現在)

【顧問1名、運営委員23名、監事2名】

	氏名	役職
顧問	吉村美栄子	顧問
会長	柴田 洋雄	
副会長	佐藤 五郎	
運営委員	菅原 幸司	清流・環境対策部会長
運営委員	大泉 茂	清流・環境対策部会 副部会長
運営委員	本間 義衛	最上川文化・地域経済活性化部会 部会長
運営委員	井上みやま	最上川文化・地域経済活性化部会 副部会長
運営委員	竹田 仁	置賜地域部会長
運営委員	渡邊 恭一	村山地域部会長
運営委員	齋藤 正昭	最上地域部会長
運営委員	原田 清廣	庄内地域部会長
運営委員	林崎 正晃	
運営委員	桑嶋 誠一	
運営委員	佐藤景一郎	
運営委員	齋藤 辰彦	
運営委員	亀井 浩之	
運営委員	手塚 寛之	
運営委員	北村 章	
運営委員	花岡 正明	
運営委員	広瀬 涉	
運営委員	岡 邦彦	
運営委員	原田 眞樹	
運営委員	安達 正司	
運営委員	伊藤 憲昭	事務局長
監事	佐藤 学	
監事	渡部 秀勝	

(敬称略、順不同)